

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト (フィジー国ナンディ・ラウトカ地区における無収水対策能力向上プロジェクト)
実施期間	2023年5月～2026年7月
主催機関	JICA、(株)日水コン、八千代エンジニアリング(株)、福岡市水道局
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>フィジー共和国西部に位置するナンディ・ラウトカ地区では、無収水率48%と高い水準にあり、人口増加に伴い水需要が拡大する見込みであるため、無収水削減による給水量の確保が課題となっている。この課題解決のために、フィジー上下水道公社の無収水対策能力向上が必要であることから、JICAは技術協カプロジェクトを実施している。福岡市水道局は、本プロジェクトに参画し、短期専門家の派遣や本邦研修の受入れを通して、技術者の人材育成等を行うもの。</p> <p>■内容（2024年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期専門家として職員1名を現地派遣 ・本邦研修（フィジー水道技術者7名）の受入れ
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



現地派遣



本邦研修

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）
実施期間	2024年10月3日～10月11日（オンライン）、2024年10月28日～11月15日（来日）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>開発途上国においては、上水道に関する技術者不足から無収水量が大きい状況にあるため、JICA課題別研修員として受け入れ、本市が持つノウハウや技術を習得することで、各国の給水環境の改善に資するとともに、活動を通じた水道局職員の人材育成や水道技術力の維持向上を図るもの。</p> <p>2024年度はオンライン研修と来日研修（対面）のハイブリッド形式にて研修を実施した。講義をオンデマンドによるオンライン研修で行い、視察や実技等を来日研修で行った。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業、無収水量管理、漏水防止、配水管の設計・施工・維持管理、人材育成 など ・視察：配水管工事現場、メーター器差試験、海水淡水化施設、お客様センター など ・実技：技術研修所での無収水削減実習 ・アクションプラン作成支援
対象（相手）国・機関名	ブータン（1名）、エジプト（1名）、ヨルダン（1名）、パラオ（1名）、ルワンダ（1名）、サモア（1名）

写真



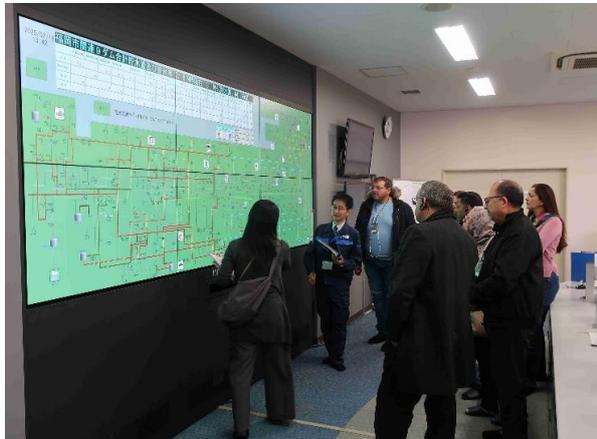
アクションプラン作成



技術研修所での無収水削減実習

事業体（団体）名	福岡市水道局
事業名称	JICA技術協カプロジェクト（チュニジア国南部地域スファックス大都市圏都市給水区域における無収水削減能力向上プロジェクト）
実施期間	第2期：2024年6月～2026年4月
主催機関	JICA、八千代エンジニアリング(株)、日本テクノ(株)、福岡市水道局
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>チュニジア共和国では良質な水資源の約85%が北部に分布しており、水資源の地域的偏在や、人口増加に伴う水需要増への対応が喫緊の課題となっている。南部都市スファックスでは、水供給の大部分を北部水源に依存し、乾季の水不足が深刻であることや無収水率が高い(24%)ことから、効率的な無収水管理が求められている。このような背景から、節水型都市づくりを推進してきた福岡市水道局は本邦研修の受入れを行い、無収水対策等のノウハウや知識を伝えることで、スファックス大都市圏の効率的な無収水管理に寄与するもの。</p> <p>■内容（2024年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道管理、水道計画、節水型都市づくりの施策 ・視察：水管理センター、メーター器差試験、海水淡水化施設、お客様センター など
対象（相手）国・機関名	チュニジア・水資源開発公社（8名）

写真



水管理センターの視察



メーター器差試験の視察